

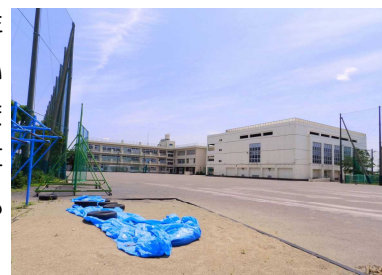
学校再開、少し前進、～少しだけの「あたりまえ」を大切に！～

校長 上原 浩

新型コロナウイルスに対して、不安な思いが残る中、今日から学校生活が再開しました。繰り返し報道されているように、緊急事態宣言が解除されたからと言っても、「安全になった」わけではありません。そのため、横浜市内の中学校では、6/12までは、注意を払いながら短時間での分散登校となっています。**ルールとマナーを守って行動し、感染の拡大がなければ、その後、徐々に活動の幅を拡げることができます。**それを信じて、もうしばらくご協力をお願いします。不安な時は、信号を発してください。ますます暑くなってきますが、学校生活では当面、**「マスク（或いはマスクに代わるもの）の着用」**をお願いします。ただし、息苦しい時は、人のそばから離れて、一時的にマスクを外して呼吸を整えてください。決して無理はしないようにしましょう。（登下校中も含めて。）

さて、今回のコロナ禍で、今まで馴染みが無かった言葉が数多く登場しました。その中でも、オーバーシュートやロックダウン、クラスター等のカタカナ用語に交じり、「**エッセンシャルワーカー**」という言葉に目が留まりました。「essential=絶対必要な、欠くことのできない」+「worker=働く人」とは、私たちが生活を営む上で欠かせない仕事に従事している人々のことを指します。もちろん、全ての仕事が社会にとって欠かすことができないのですが、医療、介護、ライフライン、エネルギー、通信、農業、食品、運輸、運送等の分野で働く人々の動きが止まれば、多くの人々が生命の危機に直面します。先日、消防署の前を通りかかった時、シャッターは閉まりひっそりとしていましたが、緊急事態宣言が出ていてもいなくても、いつでも24時間出動できるよう隊員が待機しているのだろうなと思いました。もちろん、救急搬送の要請があった場合は、感染の危険に対応しながら救護者を運ぶのでしょう。ふと、消防官の道を歩んだ友人や教え子のことを思い起こしました。変な言い方かも知れませんが、今回の件で、「あたりまえの生活を支えてもらっていること、支えている人々」に改めて感謝と尊敬の念を抱きました。おそらく、皆さんの家族、親類、地域の方の中にも、こういった方々が数多くいるのではないのでしょうか。大変、心配していることでしょう（私の周りにも数人います）。今回、どうか学校が再開できたのは、「**エッセンシャルワーカー**」をはじめとする社会で尽力されている方々と、「**感染しない・持ち運ばない**」ために家庭で頑張っている人々の総力なのかも知れませんが、

今日から、少しだけ以前の生活に戻ります。一日いちにちを、これまで以上に大切にしていきたいものです。学校では今、様々な調整をしながら今年度の予定を再編しています。学校独自の判断では決められない部分もあり、本日お伝えできる範囲は一部になりますが、決まり次第、お知らせします。繰り返しになりますが、段階的な再開になります。「3密」を避け、感染拡大防止に努めながら、もうしばらく共に「新型コロナウイルス」と闘っていきましょう。少しでも不安なことがあれば、声をかけてください。



お願い 再開に向けたお知らせを、5/25付、5/27付で本校ホームページに掲載しております。本日配布文書と併せてご確認ください。